天川の水の大切さ

天川村立天川中学校　二年
天神　麻里亜

私は自然豊かな天川村というところで生まれ育っています。ここ、天川村は、多くの方がこの美しい自然を求めて訪れてきます。

観光客が「美味しい」と言って飲む天川の水は、他の水とどう違うのだろう。

私は興味をもち、天川の水と他県の水の違いについて調べました。

まず天川の水は、透明度が他県と違うことです。山から流れ出てくる水なので、カルキが入っていなくて、体にもいいことが大きな違いです。透明度は一見分からないのですが、機械で調べると、天川の水との違いがはっきり分かるそうです。私は、見た目だけで透明感があると思っていたけれど、本当に違いがあることに驚きました。またカルキは、体に害を与えるものではないそうですが、やはり少しだけ肌に影響が出やすいらしいです。思いかえしてみると、以前大阪の祖父の家の水道水で顔を洗った時、顔にニキビのような物が出たことがありました。そう思うと、やはり天川の水は、健康面でもいい水なのだと思いました。

他県の水は、汚ないし、美味しくないというイメージを私はもっていたので、ではいい事はないのかなと思い探してみると、ありました。それは、雨の日でも水が茶色く濁ったりしないことです。私の家では、水は山水なので、雨が降ると、水は茶色に濁ってしまうため、料理や洗濯、おふろなどにとても困ります。このことを思うと、濁る心配のない水はいいなと思います。

この違いを調べて、いつも気にして使わない水の大切さがよく分かりました。外食した時に出てくるレストランの水は、私にとって

はあまり飲めません。普段から美味しい水を飲んでいるからです。だから、私たちがなにげなく使っている天川の水は、他県の人にとっては、きれいで美味しい水なのだと分かりました。

以前、水をくんでいた観光客の方たちが、「こんなにきれいで美味しい水を飲めることはうらやましい。」と、言っていました。その時は、何とも思いませんでしたが、今回改めて、確かにこんなにいい水を飲めていることに感謝しないといけないなと思いました。

これからは、私たちの誇りである天川の水を大切にしていきたいです。